



- 射撃分析装置 SCATT(スキャット)とは、特殊なセンサーを用いてパソコン上で仮想の標的を作り出してトレーニングをする機械です。SCATT を活用することで銃口の動きを測定し、引き金を引いたときに起きる撃発の衝撃を感知して、弾を出さなくても実射と同じようにパソコン上に点数が表示されます。

- SCATT の特徴

銃口センサーが軽い。取り付けがしっかりと固定できる。練習開始前の位置設定が簡単。

また、SCATTのプログラムから練習の距離に応じた縮小標的の印刷も可能です。

メーカーによる日本語版のページや、動画での製品紹介もございます。

<https://www.scatt.com/jp>

- 射撃の分析

標的に向けると SCATT は常に銃口の動きを測定しています。それにより、据銃能力や撃発のタイミング、撃発前後の銃口の動きがわかります。自分自身の感覚や観察していても分かりにくいものを視覚化、数値化して分析できます。

- 種類について

SCATT は銃口センサーが MX-02/W2(ワイヤレス)(画像認識)と USB/ワイヤレス(赤外線)のものが有ります。

MX-02/W2 は銃口の位置の**精度が非常に良い**です。標的側のセンサーが不要で**実射しながらの分析も可能**です。使用するには屋内、屋外兼用ですが標的側の明るさが 1500 ルクス以上必要です。センサー取り付けの調整をする必要があります(慣れるまで時間がかかる場合があります)。

USB/ワイヤレスは室内専用になります。標的側にセンサーが必要ですが、センサーの認識範囲が広い為、簡単に**位置設定が非常に簡単**です。